



青柳 賢治 議員

熱中症は普段から気を付けることで防げるよ

問 「命に危険を及ぼす暑さ」に町や学校の取り組み、今後の考え方を聞く。

答 健康いきいき課長 嵐山町の熱中症による搬送者数は8月24日現在16人で昨年12人の1・3倍の増加。町民の皆さんが熱中症予防の正しい知識を持ち、適切に予防できるように「熱中症予防5つのポイント」を広報嵐山や回覧、健康づくりや介護予防に関する教室、高齢者の見守り訪問等で周知・注意喚起し、民生児童委員さんには

「命に危険を及ぼす暑さ」に適應するには 答 ひつひつへの呼びかけと自覚で

リーフレット配布の協力をいただいた。これに加え防災無線と安心メールによる注意喚起。昨年は無かった重傷者が発生していることから対策の強化が必要と考えている。特に注意が必要な高齢者、障害児(者)、小児等に重点的に呼びかける。

答 教育総務課長 朝会時に養護教諭から熱中症についての話と安全担当の指導。各教室のエアコン始動、外気温により休み時間のグラウンド使用中止、気温の状況により部活動の短縮・中止等柔軟に対応。児童生徒の健康を最優先に考慮したうえで、健康観察により健康管理の徹底を図る。

り事故のない学校運営を行う。
問 クールオアシスを町内民間業者にも町長 話ができる場所があればいい。
答 プレの教訓を本オープンに活かせ

問 プレオープンの課題は。
答 農政課長 役割が不明確で、対応し切れなかった。
問 本オープンをどう考える。
答 町長 枝葉のこともあるが本題は稼働力をどうつけるかということ。



本オープンに期待大＝H30.6.24



渋谷登美子 議員

残念!! グラウンドピアノがない

問 嵐山町の社会教育の場に、グラウンドピアノが設置されていない。音楽を愛好する方も多く、残念である。北部交流センターには、ステージのあるホールがある。グラウンドピアノの設置について考えを聞く。

答 町長 まちづくりのなかで文化度の高さは重要であるとは考える。環境・安全・経済等を考えると予算を充当するウエイトが低い。ピアノを置いておく場所が狭いのではないか。費用対効果を

考えると順位は低くなる。

問 夏、嵐山町では愛とヒューマンのコンサートが開催された。嵐山町での最初の愛とヒューマンのコンサートは又エックの講堂だった。又エックの講堂はコンサートには向かない。昨年は北部交流センターで開催された。北部交流センターでは音が後ろまでのびやかに届く。昨年は椅子に楽譜をのせ、その上にクッションを置いて演奏する状況だった。今年椅子は購入された。グラウンドピアノにした。小中学校のグラウンドピアノの状況は。

答 教育総務課長 菅谷小に3台、七郷

グラウンドピアノを北部交流センターに 答 効果を研究させてほしい

小に2台、志賀小に2台、玉ノ岡中に2台、菅谷中に4台ある。
問 嵐山町は人口減少の対応として、町民会館の建設をしない選択をした。が、生涯学習は盛んで音楽の好きな方は多い。学校のグラウンドピアノとふれあい交流センターのアップライトピアノを交換する方法もある。

答 町長 学校のピアノと普通の施設のピアノを交換できるか、効果を研究させてほしい。



愛とヒューマンのコンサート・パリオペラ座ピアニスト・ベッセラさんとお嬢さん・北部交流センター＝H30.7.25